

大地の生い立ち・美濃加茂②

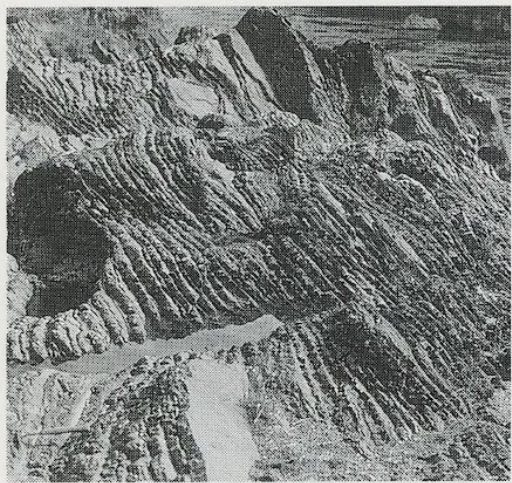
海底から陸地、チャートは語る

大岩壁と奇岩・怪石を両岸に見る日本ラインの大地は、チャートでできています。

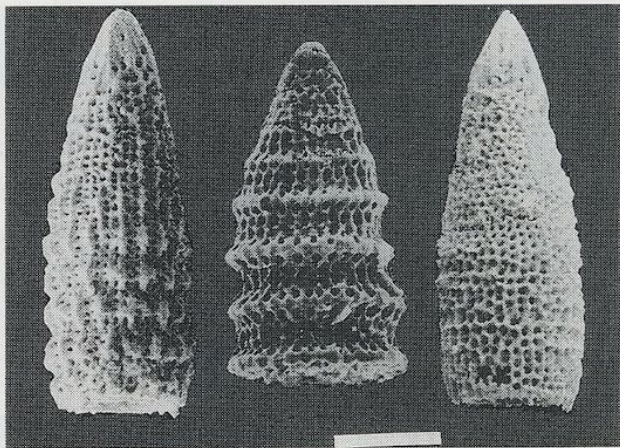
チャートには、大地の生い立ちの秘密があります。日本ラインのチャートはカラフルに何枚も重なり合っていて、微生物の化石がいっぱい含まれています。とくに、赤紫色の層状チャートには、0.4ミリ以下の放散虫の化石が密集しています。

放散虫は石英質の殻をもつ海洋性プランクトンで、七億年以上前から進化を繰り返して、今なお行き続ける生物です。

日本ラインの大地を造るチャートの源となった放散虫は、三畳期〜ジュラ期（約2.4〜1.5億年



放散虫化石を含む層状チャート  
(坂祝町)



電子顕微鏡で見た放散虫化石  
(白い線が0.1ミ)

前頃)に、熱帯の海に住んでいて深海底に堆積したものです。それが今ここにあることは、日本まで移動してきてそれが隆起して陸化したからです。

堆積物を運んだのは動く海底で、それを隆起させたのは造山運動のエネルギーです。

(博物館専門委員・鹿野勘次)

今回は、次の方々から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成5年7月分)

○古い紙幣、絵葉書ほか八十点

(安田博人さん／蜂屋町)

○鬼瓦 一組

(大矢雅利さん／伊深町)

市社会教育課博物館建設係  
(☎内362) まで情報をお寄せください。